

長野県畳商工組合連 理事長 丹 羽 正

長野県技能士会連合会新聞

長野県畳商工組合は昭和 32 年 2 月の結成以来、今年で 61 年目を迎えることができました。これも偏に諸団体をはじめ関係各位の皆様の絶大なご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

「畳」は日本固有の文化です。日本最古の「畳」は奈良時代に聖武天皇が寝台様に使用されたと言われています。その後、室町時代に入ると書院造り、桃山時代の茶室建築で貴族や武士の特権階級の間で発展し、江戸時代の中期以降から日本の気候や風土に適していることから広く一般にも普及し日々の暮らしに欠かすことのできない文化として発展してきました。今日においては、普通の畳はもとより、縁無し畳、置き畳、薄畳などモダンティストで自由に空間を楽しんでいただける色彩豊富な畳も開発されています。畳には空気の浄化作用、保温断熱に優れ湿度調整、吸音性、弾力性に効果があります。

しかし、畳が私たちの暮らしの中で当たり前にあった時代は変わり、住宅の洋風化に伴い平成 21 年に 4320 万畳あった畳の需要は今現在 1300 万畳と減少の一途をたっています。私どもは毎年「信州ものづくりフェア」でミニ畳を作るイベントを開催していますが畳を全く知らない子供たちが年々増えています。

畳店の数も昭和 32 年の組合結成当初は 1000 店ありましたが、今日では 200 店あまりに減少しています。時代とともにお客様のニーズも複雑多様化しています。私たちは畳の機能特徴を再認識し消費者のニーズにしっかりと耳を傾け仕事に取り組んでいかなければなりません。

組合では、若年層や後継者の育成を目的に毎年技能検定試験の実技試験に向け、準備講習会を開催しております。また、マイスター制度を活用して各地の支部ごとに講習会を開催し、組合員の技術向上に努めています。日本古来よりの伝統文化を次の世代に残し、更なる発展に努力し前進していかなければと思っています。

今後関係者の皆様のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



#### 事務局からのお知らせ

各技能士会で行事とかお知らせがあればご連絡ください。

この新聞で広報させていただきます。

\* 事務局からのお知らせ

今年度より新たに事務局を担当します。久保田です。よろしくお願いします。  
技能士会の総会は6月1日(金) ホテル信濃路で開催します。

発行  
長野県  
技能士会  
連合会  
事務局

